



第89回海洋教育フォーラム に協賛しました 海にみらいを求めて！

(公社)日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会は、若者を含む多くの国民に船や海に馴染んでもらうことを期待して全国でフォーラムを開催しています。令和6年3月10日(日)には三笠講堂において約100名の方が参加して「海にみらいを求めて」とのテーマで二人の技術者からお話を伺いました。

第1部では先ず「海と地球環境」との題で、海洋研究開発機構の本多牧生氏が海の持つ地球環境制御能力について紹介され、温暖化による極地の氷の減少等が話題になっていることもあり多くの質問がありました。続いて九電みらいエナジーの山本弘子氏が同社が長崎県五島列島奈留瀬戸で行ったわが国初の大規模潮流発電実証試験の成果について紹介され、水中の稼働状況を目にすることはできませんが、風力発電等と通ずる点もあり、多くの質問が出て、いずれのテーマも関心の高さが伺えました。

第2部では、3つのブースに分かれて体験型の解説が行われました。VRを使用して海底における潮流発電機の稼働状況や周囲の海洋生物の状況を体感し、12分の1の潮流発電機模型では潮流発電の構造や稼働状況などについて質疑が行われ、デジタル地球儀「ダジックアース」により地球の気候変動の状況などが紹介されました。いずれのブースも講師が模型などに触りながら個々の疑問に丁寧に答えており、VRなどは人気で時間超過の恐れもあることから一部打ち切らざるを得ないほど盛況でした。

